

区道で発生した道路隆起について

10月28日（火）の朝方、東海旅客鉄道㈱（以下、JR 東海）が進めているリニア中央新幹線第一首都圏トンネル（北品川工区）のシールド掘進位置に近接した区道において道路の隆起を発見、確認した。

区は、同日に早急な原因究明等を強く申し入れる文書を JR 東海宛て発出した。

1. 発生概要

日時：令和7年10月28日（火） 7：20 頃発生を確認

規模：歩道と車道の境界で 15 cm 程度の段差が発生

場所：品川区西品川一丁目地内



2. 区の対応

- ・職員および交通管理者により、安全確保のため立ち入り禁止措置を実施
- ・各埋設企業者へ調査を依頼 → 調査の結果、各社とも異常ない旨報告
- ・JR 東海へ連絡し、現地確認を依頼
- ・段差発生部の応急復旧を実施（歩行者通行部分として概ね 2m 程度）
- ・JR 東海宛て、緊急的に申し入れ文書を発出（別紙 1 参照）

3. 東海旅客鉄道㈱の対応

- ・区からの連絡後、シールド掘進を停止
- ・現地に交通誘導員を配置し、24 時間体制で交通誘導を実施
- ・10月28日（火）に JR 東海 HP で事象の発生等について公表（別紙 2 参照）

品 都 開 発 第 3 7 号
令和 7 年 1 0 月 2 8 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 丹羽 俊介 様

品川区長
森澤 恭子



品川区道で発生した道路隆起への対応について

令和 3 年 10 月にリニア中央新幹線第一首都圏トンネル（北品川工区）のシールドトンネル工事が開始されて以降、2 度のシールドマシンの不具合による掘進停止、シールド掘進位置の近傍が発生地点となった目黒川の気泡発生などにより、区民からは多くの不安の声が寄せられています。

こうしたシールドトンネル工事に不安を抱える区民が存在する中、令和 7 年 10 月 28 日の朝方、シールド掘進位置直近の品川区西品川一丁目の区道で道路の隆起を区として発見、確認しました。

この間、区からは貴社に対して、施工管理の強化策を徹底し、地上に影響が生じることのないよう、また、区民からの不安の声を真摯に受け止め、区民への丁寧な説明と適切な措置を講じるよう繰り返し求めてきた中、今回の事象が発生したところであります。早急な原因究明を行うとともに、地域住民の安全確保、不安の解消に万全の対策を講じるよう、区民の安全・安心と生活環境を守る立場の地元区として、次の事項について、強く申し入れます。

1. 当該道路隆起の原因究明を早急に行うこと
2. 原因究明がなされるまで、シールド掘進を行わないこと
3. 区民からの不安や懸念の声を真摯に受け止め、区民への丁寧な説明と適切な措置講じること

2025年10月28日

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）工事共同企業体

中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）工事周辺における地表面隆起について

本日、中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）工事現場の地上付近において、地表面の隆起を確認しました。

当社工事との因果関係は調査中ですが、周辺で行われている工事が無いことから、当社起因の可能性があると考えており、掘進を一時停止しております。

引き続き調査を進めてまいります。

1. 発生日時 2025年10月28日（火） 時刻不明
 ※知得時間は10月28日（火） 8時30分頃
2. 発生箇所 東京都品川区西品川1丁目1番付近の区役所通り上の交差点
3. 施工会社 中央新幹線第一首都圏トンネル新設（北品川工区）工事共同企業体
 （構成員 株式会社熊谷組、大豊建設株式会社、徳倉建設株式会社）
4. その他
 ・品川区から連絡を受けて、現地を測量した結果、隆起を確認しました。
 ・道路は一時、片側交互通行となりましたが、現在は解消されています。
 ・道路管理者（品川区）による応急処置（段差の一部解消）を実施済みです。
 ・定期的に地上巡回を行っている範囲で、周辺への影響は確認されておりません。



（参考）

高さ：最大約13センチ

幅 ：約10メートル